

## 東京医学校本館遺構

堀江幸司                      松田明子                      平川裕子  
東京女子医科大学図書館      東京都養育院老年学情報センター      千葉県立中央図書館

巣鴨から白山通りを水道橋方面に向かうと旧白山通りとの交差点、白山下にぶつかる。この白山下交差点を右折して蓮華寺坂を上り、さらに御殿坂を下ると小石川植物園がある。

この小石川植物園(東京大学理学部附属植物園=東京都文京区白山三丁目7番1号)は、徳川幕府が設けた「小石川御薬園」に端を発し300年以上の歴史を持つ。享保8年(1723)には、養生所が園内に創設され、現在も「旧養生所の井戸」が残る。小石川御薬園が小石川植物園と改称されたのは明治8年(1875)のことであった。

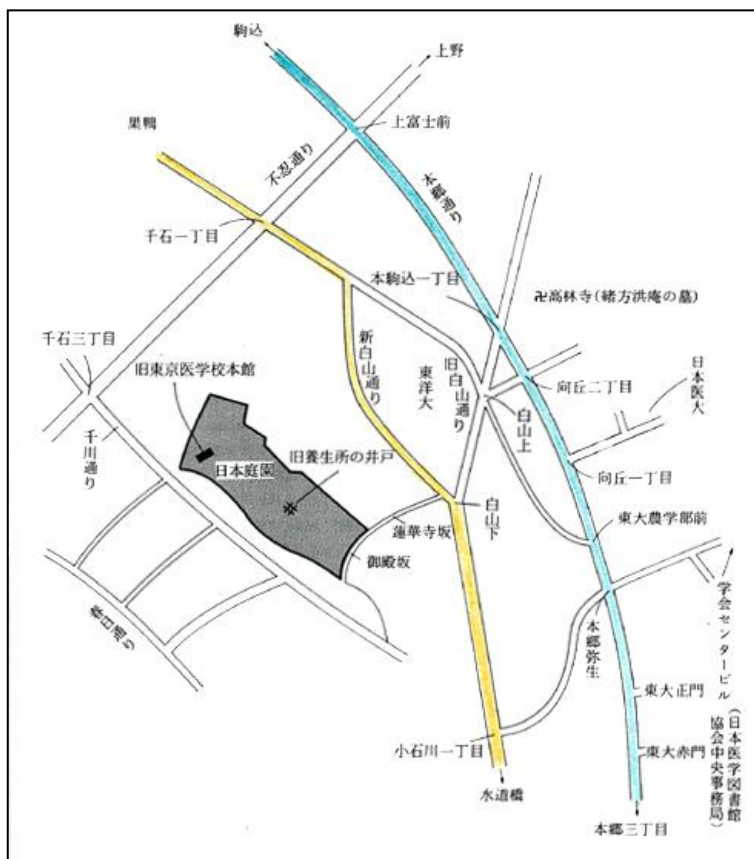
園内は、うっそうとした緑に囲まれ、大都会の喧噪はない。約4,000種の植物が栽培され、四季折々の草花が観察できるようになっている。春は桜、初夏はハナミズキ、夏はクちなシ、秋はサザンカなどが美しい。

植物園入口を入って左へ進むと、一番奥まった所が日本庭園である。この日本庭園は、5代将軍綱吉の幼時の居邸、白山御殿跡で、小石川植物園の西側を通る千川通りには、白山御殿前の地名が残る。日本庭園の一角に「旧東京医学校本館」が建っている。この建物は、明治9年(1876)11月、本郷旧加賀屋敷跡(当時文部省御用地)に建築された東京医学校本館の遺構である。昭和44年(1969)3月に本郷構内からこの地に移築され、翌昭和45年(1970)6月17日に重要文化財(文部省所管、告示第228号、台帳・指定書番号 建1768)に指定された。「明治政府がその初期に諸官庁の建築工事を管掌させた工部省営繕局の設計になる木造建築として、現存唯一の遺構である。」<sup>1)</sup>

屋上に塔屋があり、正面中央にバルコニーの付いた玄関を持つ赤い洋館である。日本庭園とよく調和して小石川植物園の名物のひとつとなっている。



東京医学校本館遺構(1986.4.27 堀江幸司撮影)



東京大学理学部附属植物園(小石川植物園)付近略図(堀江幸司作成)

東京医学校の前身は第一大学区医学校(明治5年<1872>8月3日=下谷和泉橋通旧藤堂邸)で、その起源は種痘所(安政5年<1858>5月7日=神田お玉ヶ池松枝町元誓願寺川路聖謨宅)にある。現在、千代田区岩本町三丁目交差点の角(千代田区岩本町二丁目5—9)に、「旧お玉ヶ池畔」の標柱とともに「お玉ヶ池種痘所記念」の石碑が建っている。これは、東京大学医学部創立100年記念会によって昭和36年(1961)10月に建立されたもので、碑文は緒方富雄先生による。

明治10年(1877)、東京医学校は東京大学医学部(第一次)となる。この時、綜理となったのが池田謙齋、心得となったのが長与専齋であった。東京医学校時代、専齋がその校長を勤めたが、北里柴三郎が学んだのも、この東京医学校であった。

東京大学医学部には東京大学医学部文庫があった。この医学部文庫の前身は維新以前よりあったが、明治元年(1868)6月頃、医学部が神田和泉町で大病院と称されていた時、その中に開設された文庫が、その直接のはじまりとなる。その後、文庫は明治9年(1876)11月27日、東京医学校の新築落成に伴い本郷元富士町に移された。そこは3室から成り、広さは80坪余りで、蔵書のうち医学の洋書は7,781部であったという。

ところで、明治9年(1876)竣工当時、東京医学校本館は、本郷構内の現在の竜岡門を入った右手の竜岡町通りに面したあたりにあった。竜岡町通りからは「鉄門」を通って、本館の前庭に入れるようになって

いた。屋上には時計台があり、梁間は現在の遺構より2倍近くあったという。

明治44年(1911)1月14日から7月20日までの期間をかけて、赤門を入れて右側、今の経済学部のある場所に移築された。史料編纂所として使われた後、営繕課・施設部の庁舎となる。昭和30年(1955)に

は「東京大学営繕課」の看板が入口に下がって100人以上の職員が仕事をしていたという。昭和40年(1965)用途廃止となり、昭和44年(1969)3月、明治44年(1911)当時の外観に復元され、小石川植物園内に移築されたのであった。



東京大学医学部(明治初期)<sup>2)</sup>

「旧東京医学校本館」の南側には、ヒポクラテスのプラタナスの木がある。これは、慶應義塾大学北里記念医学図書館(医学情報センター)前に地植えされたプラタナスの木(篠田株)を、小石川植物園で、挿し木して育成したものである。また、このプラタナスの木は、本郷構内の東京大学医学図書館の並び、ベルツ・スクリバの胸像の左側にも植えられている。

## 引用文献

1)「重要文化財」編纂委員会:解説版新指定重要文化財 13 建造物 III. 文化財保護法施行30周年記念出版. 毎日新聞社, 1982. P. 131.

2)明治ニュース事典 II 明治11年-明治15年. 毎日コミュニケーションズ, 1983. 前付写真ページ.

(個人リポトリ 平成21年8月22日 登録)